

レジメン名 (治療名)					
CBDCA+PEM+ペムブロリズマブ					
癌腫	レジメン (略語)	実施区分	抗がん剤適応区分		
非小細胞 非扁平上皮 肺癌	CBDCA+PEM +ペムブロリズマブ	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法	<input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> 局所化学療法 <input type="checkbox"/> その他	
投与順	抗がん剤名 (商品名・略称)	1日投与量	投与経路	投与時間	投与日 (day1, 8等)
1	ペムブロリズマブ	200mg/body	点滴静注	30分	Day1
2	ペメトレキセド【PEM】	500mg/m ²	点滴静注	12分	Day1
3	カルボプラチン 【CBDCA】	AUC=6	点滴静注	1時間	Day1
1コースの期間 (次コースまでの標準期間)		3~4週ごと (臨床試験では3週間ごとだが、副作用の発現状況を考慮して4週間ごとの地領実施も可とした)			
総コース数及び総投与量の限界		CBDCA+PEMとして4コース行う。 その後 PEM+ペムブロリズマブ維持療法を3週ごとに継続する。 有害事象出現またはPDまで。			
プレメディケーション ポストメディケーション		パロノセトロン、デキサメタゾン、ファモチジン			
備考		<ul style="list-style-type: none"> ・副作用の被疑薬が特定できる場合は、該当薬剤のみ中止して治療継続可能。 ペムブロリズマブ関連事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種：不活化ワクチン可。生ワクチン不可。 PEM 関連事項 <ul style="list-style-type: none"> ・NSAIDsとの併用は原則行わない ・投与7日間以上前から PEM 最終投与日以降22日目までの期間以下を行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 葉酸 (フォリアミン) 0.5mg 分1 連日経口内服 2) ビタミン B12 の筋注 9週ごと CBDCA 関連事項 <ul style="list-style-type: none"> ・投与量は AUC=6 が 400mg/m²以上になる場合、400mg/m²×体表面積で計算する。 ・内服制吐剤は症状に合わせて、アプレピタント投与可能。その際には、day2, 3のデキサメタゾンの内服は省略可能。 			

《投与順》

CBDCA+PEM+ペムブロリズマブ 4コース

(1) 生理食塩液	100mL	
パロノセトロン 0.75mg	1A	
ファモチジン 20mg	1A	
デキサメタゾン 8mg	1V	30分
(2) 生理食塩液	50mL	5分
(3) 生理食塩液	100mL	
ペムブロリズマブ	200mg	30分
(4) 生理食塩液	50mL	5分
(5) 生理食塩液	100mL	
ペメトレキセド	500mg/m ²	12分
(6) 5%ブドウ糖液	250mL	
カルボプラチン	AUC=6	60分
(7) 生理食塩液	50mL	5分

維持療法

(1) 生理食塩液	100mL	
ファモチジン 20mg	1A	
デキサメタゾン 8mg	1V	30分
(2) 生理食塩液	50mL	5分
(3) 生理食塩液	100mL	
ペムブロリズマブ	200mg	30分
(4) 生理食塩液	50mL	5分
(5) 生理食塩液	100mL	
ペメトレキセド	500mg/m ²	12分
(6) 生理食塩液	50mL	5分